

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

福島

高等学校

76

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>「正しく、強く、美しく生きる」という精神を胸に、自己実現に向けて努力する生徒を支援する夜間定時制高校</p> <p>多様な生徒が共に学ぶ環境の中で、生徒一人一人の個性を尊重しながら社会人として必要な資質・能力や豊かな人間性を育み、社会に貢献できる人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識、協調性、忍耐力を身に付け、社会人として必要な資質・態度の育成 ・進路の幅を広げるために、多様な資格を取得できる力の育成 ・学んだ知識や技能を活かして社会に貢献できる人材の育成
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育段階の既習事項の「学び直し」を取り入れた基礎学力の定着 ・働きながら学ぶ厳しさを乗り越える精神力と自ら学ぶ意欲の育成 ・多彩な学校行事を通じた、豊かな人間性の涵養
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の定着と様々な学習に真摯に取り組む人 ・社会のルールやマナーなど規範意識の涵養に努める人 ・自らの人生についてじっくりと考えて、将来の進路を決めたい人

学校運営計画(4月)

学校運営方針	校訓「正大・剛毅・優美」を胸に、自己実現に向けて努力を重ねるとともに、身に付けた豊かな人間力で社会に貢献する高い志を持つ人を育てる。口		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>【成果】 コロナ禍において培った新たな視点や工夫を大切にしながらの学校行事の実施。「福島高校は生徒が伸び伸びと学ぶことができる学校である。」という地域からの評価。生徒の学校生活に取り組む意識の高揚。生徒が生き生きと活動する場の提供、並びに主体的に取り組むような様々な仕掛けによる生徒の成長。</p> <p>【課題】 生徒募集に係るより効果的な広報活動の推進。生徒に確かな学力を付けさせ、進路希望を実現できる学校としての教育内容の充実。</p>	<p>「自ら考え、自ら判断し、チャレンジする」態度の育成及び他者と協働し課題解決に挑む態度の育成</p>	<p>良質かつ本質的な問いかけや個に応じた指導を通して、「自分には何ができるか」と主体的に考え、判断し、行動に移す態度及び他者と協働し課題解決に挑む態度を、全ての教育活動を通して育成する。</p>	
	<p>「社会に貢献できる人材の育成」を目標とした、より組織的な教育活動の充実</p>	<p>生徒に基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、教員は個別最適な学び、協働的な学びにつながる授業を実践することにより、生徒の「思考力」「判断力」「表現力」の育成を図るとともに自ら学ぶ姿勢を身に付けさせる。授業と評価方法の改善により、指導と評価の一体化を図る。生徒とのコミュニケーションを大切にし、生徒の個性や能力を引き出すとともに社会性を身に付けさせ、個々の生徒の状況と特性に応じた進路の実現を目指す。</p>	
	<p>関係機関との連携強化による地域に開かれた学校づくり</p>	<p>本校の特色ある教育活動を通して、生徒により広い世界を体験させるとともに、屋間の就労を奨励し、就労先を含め地域社会との連携強化を図り、地域に開かれた学校づくりを推進する。</p>	
	<p>生徒の人権意識の向上及び安心・安全な学校づくり</p>	<p>人権教育を推進することにより、生徒の人権意識を向上させ、違いを認め合い、自分自身と他者を大切にすると心豊かな人間性を育む。ICTの積極的活用を通して、生徒理解や個別最適化された授業の実践及び業務の効率化を推進し、生徒と教員が心身ともに健康で安心して過ごせる学校づくりに努める。</p>	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教科指導	「わかる授業」を目指した授業の工夫・改善を行い、基礎学力を定着させるとともに、正しく生きるための英知を身に付けさせる。	授業の在り方等について職員間で共通理解を図りながら、全職員で生徒の落ち着いた授業態度を徹底させる。 授業アンケートを実施し生徒の理解度やつまづきを把握するとともに、アンケート結果を分析し「わかる授業」を目指した授業改善に取組む。 各教科で義務教育段階の「学び直し」を取り入れるとともに、学習の遅れがちな生徒に対する学習支援を行いながら、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。	授業アンケート	
	主体的に学ぶ態度の育成や、深い学びの実現に向けた実践に努め、自己実現のために努力する力を養う。	授業と評価方法の改善により、生徒の多様な資質能力を広く評価できる授業を実践し、主体的に学習に取り組む生徒の育成を図る。 生徒用端末の活用を推進し、学習段階に応じた個別最適な学びを実践することで、学習意欲と学力を高める。 生徒の希望や適性を把握し、早期から個に応じた適切な学習支援を行う。	授業アンケート	
生徒指導	いじめを撲滅し、道徳教育の推進と規範意識の醸成を図り、問題行動の未然防止に努める。	規範意識育成学習(いじめ防止・非行防止等)の推進により、問題行動の未然防止と規範意識の醸成を図る。 社会人としてのルールやマナーの指導、あいさつや言葉遣いの指導により、生徒の社会性を高める。 アンケート(いじめ・学校生活)、家庭チャックリストを継続して実施し、早期発見・早期対応に努める。	規範意識学習、学校生活アンケート、いじめアンケートの実施回数	
	魅力ある学校の雰囲気づくりの為、カウンセリングの充実を図り、心の悩みを知ることで、中途退学の防止に努める。	部活動・生徒会活動の活性化を図ることで、行事等への積極的参加を促し、人間関係を推進する。 授業時や諸活動において、生徒の状況を観察し、生徒間・教師間の望ましい関係を構築する。 面談週間を設定し、教育相談の充実を図るとともに、職員間での情報共有と共通理解を深める。	学校満足度調査	
進路指導	働きながら学ぶ厳しさを乗り越える精神力と自ら学ぶ意欲の育成及び学校教育全体を通じてキャリア教育を推進し、社会人として望ましい勤労観・職業観を育成する。	上級学校紹介や社会人講話など、外部講師を招聘した進路指導講座の開催を推進し、勤労観・職業観を育成する。 アルバイト等の就業経験を積ませ、就業条件等の内容を理解させ、就労することの大切さを学ばせることで、卒業時の就業のミスマッチを防ぐ。 挨拶・勤勉・節度・マナーなど、社会人として生きる力を身に付けさせる。	就労状況調査	
	進路の幅を広げるために、多様な資格を取得できる力の育成及び生徒の進路に対する意識を高めさせ、卒業予定者の就職、進学を実現させる。	アンケート及び面談を通して、生徒の希望状況を把握し、関係機関と連携を深め、希望進路の実現を図る。 進路目標を早期に設定させ、進路実現に必要な学習指導を徹底する。 大学進学等を希望している生徒へは、模試等を紹介し、進学意識の高揚を図る。	進路希望調査	
給食・保健指導	安全・安心に学ぶことができる学校づくりを推進するとともに、食と健康に対する生徒の意識を高め、たくましい身体とさわやかな心を育てる。	保健講座(性教育・AED講習会等)を実施し、健康に対する意識の高揚を図る。また、学校医と連携し健康診断を実施する。 「保健だより」「食育だより」を定期的に発行するとともに、保健委員の活動を通して健康増進への意識を高める。 スクールカウンセラー等による教育相談について教職員との連携を深めるとともに、生徒・保護者が気軽に相談しやすい環境を整備する。	講座終了後アンケート 食に関するアンケート	
研修・図書	全職員が生徒の現状ならびに課題の把握に努め、校内外の研修等を通して生徒理解の方法を身につける。また、図書室の利用を促し、読書を通じた心の成長をはかる。	授業改善や生徒理解、人権意識の向上につながる職員研修の充実を図り、豊かな人間性を身に付けた生徒の育成に役立てる。 職員の校外研修への参加を促すとともに、授業改善や生徒理解、人権意識の向上に役立つ教育情報の発信を定期的に行う。 「図書だより」の発行やお薦め図書の紹介等を通して、心豊かで、自他を思いやり、自立した生徒の育成につなげる。	希望図書調査	
広報	生徒達の活動を保護者・地域・中学校へ情報を発信する。	個人情報等に配慮しながら、生徒の活動状況等を学校ホームページへの掲載を定期的に更新し、最新の情報発信に努める。 「定時制通信」等の情報を定期的に発信し、保護者・地域・中学校との理解と協力を進め、本校の活動や生徒の姿を発信する。	定時制通信の発行回数	